「広報あしや」へのご意見 市民モニターにお聞きしました

～平成21年 広報モニターアンケート調査結果～

問い合わせ　広報課　☎38-2006

昨年12月１日号の広報紙上で募集した「広報あしや」の市民モニターに、16人のかたの応募がありました。市民モニターとなっていただいた16人のかたの性別構成は、男性４人・女性12人で、30歳から70歳代の各年齢層をほぼ網羅している結果となりました。その概要は、次のとおりです。

※今回の設問は、いずれも「広報あしや」平成21年１月１日号から12月15日号発行分、および平成21年中に発行した「臨時号」についてお聞きしています。

※詳細は、３月15日以降、行政情報コーナーでご覧いただけます。また、市ホームページにも掲載しています。

楽しんで読めた「シリーズ・あしや子ども風土記」わかりづらかった特集「施政方針の概要」

十六人中十五人のかたから、「広報あしや」の記事を『楽しんで読んだ』という回答をいただきました。

もっとも多くのかたが『楽しんで読んだ』と回答されたのは、毎月十五日号に掲載しているシリーズ「あしや子ども風土記」（六人・38％）でした。

次いで、十一月一日号の特集「芦屋市制誕生前夜点描」（四人・25％）という結果でした。

それ以外の記事についても、シリーズ「土中からのメッセージ」やコラム「芦屋の人」などと各お一人が回答され、細かく意見が分かれました。

また、「芦屋の教育」について特集してほしいとのご意見もありました。

これは、市民の皆さんが芦屋というまちに深い愛着を持ち、このまちの歴史的・文化的情報を待望されていることの表れではないかと考えています。市としては、今後ともそうした皆さんの要望に応えていくため、できる限り歴史的・文化的な要素のシリーズや特集を継続、教育問題についても掲載していくよう努めます。

その一方、十六人中九人（56％）のかたが『読みづらい記事がある』と回答されました。それぞれ一人のかたが「施政方針の概要」と毎月の「くらしの情報ガイド」が『読みづらい』と回答、それ以外にはそれぞれ一人ずつ細かく意見が分かれました。

ご指摘のあった記事については、いずれも市から皆さんへお伝えしなければならない行政情報です。

所管課とも内容を検討し、『よくわかる』行政情報にしていけるよう、一層の工夫をしていきます。

読みやすかった臨時号「新型インフルエンザ特集」・読みづらかった臨時号「芦屋病院特集」

平成二十一年中に発行した臨時号は、「芦屋病院特集（三月一日発行）」「減免・軽減特集（五月一日発行）」「医療助成特集（五月十五日発行）」「環境特集（九月一日発行）」「新型インフルエンザ特集（十一月十五日発行）」の計六回でした。

このうち、「読みやすい（わかりやすい）」と回答のあった特集は、「新型インフルエンザ特集（六人・38％）で、『医療機関の一覧が載っているのが良かった』という意見でした。

次いで、「減免・軽減特集（五人・31％）でしたが、他のすべて臨時号もそれぞれ一人・二人のかたが「読みやすかった」と回答されていました。

その一方で、「読みづらい（わかりづらい）」臨時号には、「芦屋病院特集（六人・38％）」という回答がトップでしたが、その理由として、『地方公営企業法』がよく分からないというご意見がありました。

今後は、こうした法律的な言葉の解説なども、詳しく掲載していくように努めていきます。

今回のモニター結果から、市民のかたそれぞれの関心事が、ますます細分化してきているという印象を受けました。

今後とも、本紙・臨時号を問わず、より親しまれる広報紙作りに努めていきたいと思います。

市民の皆さんの、一層のご理解とご支援をお願いします。

「広報あしや」市民モニターアンケート調査結果の概要

【設問1.「楽しんで読めた」または「わかりやすかった」記事はありましたか？】
■ある…15人〈94％〉　■ない…1人〈６％〉

【設問2.「ある」とお答えのかたにお聞きします。それは、どの記事でしたか？】
①シリーズ「あしや子ども風土記」〈６人・38％〉
②11月１日号・特集「芦屋市制誕生前夜点描」〈４人・25％〉
③６月15日号・ミニ特集「市民アンケート調査の結果報告」〈２人・13％〉
※以下、各１人ずつのご意見は12項目に細分化された回答がありました。

【設問3.「読みづらい」または「わかりにくい」記事はありましたか？】
■ある…９人〈56％〉　■ない…７人〈44％〉

【設問4. それは、どの記事でしたか？】
①特集「施政方針の概要」・「くらしの情報ガイド」〈２人・13％〉
※以下、各１人ずつのご意見で、６項目の回答がありました。

【設問５－1. 臨時号で「読みやすい（わかりやすい）」特集にはありましたか？】
①11月15日発行・「新型インフルエンザ特集」〈６人・38％〉
②５月１日発行・「減免・軽減特集」〈５人・31％〉

【設問５－2. 臨時号で「読みにくい（わかりにくい）」特集にはありましたか？】
①３月１日発行・「芦屋病院特集」〈６人・38％〉

【設問５－3. その他のご意見】
※臨時号は焦点を絞り、詳しく説明しているのでよく理解できる

【設問6. 市制施行70周年記念号などカラーにした方がいいと思われますか？】
■はい〈８人・50％〉　■いいえ〈２人・13％〉　■どちらでもよい〈６人・37％〉

【設問7. ほかにカラーページとしたほうがいいと思うところは？】
※表紙写真の花〈２人・13％〉ほか、さまざまなご意見がありました。

【設問８・9.「特集」に取り上げてほしい内容がありますか】
■ある〈９人・56％〉　■特にない〈４人・25％〉　■現状のままでよい〈３人・19％〉
※教育関係〈２人・13％〉以外は、各１人ずつのご意見でした。

【設問10. 今後「広報あしや」を良くしていくために、必要な配慮とは？】
※「毎月１日号の表紙写真の撮影場所を示す略地図の掲載」・「対象別の健康カレンダーにしてほしい」などのご要望がありました。

貴重なご意見をありがとうございました

■今回の「自由意見欄」に、『広報モニターの期間を延ばし、年間を通して意見が述べられるようにできないのか』といったご意見が複数のかたから出ていました。市として、この時期に市民モニターから意見をお聞きするのは、新年度を前にしたこの時期が新年度の紙面づくりに最も皆さんのご意見を反映しやすいからです。なお、お気付きの点やご意見は、年間を通して広報課や市ホームページで承っています。

■今回のご意見を踏まえ、本年４月１日号の広報紙面から次の３項目を実施します。
①毎月１日号の表紙写真に、撮影場所がわかるイラストマップを掲載します。
②毎月１日号の「健康カレンダー」の文字を大きくし、対象別一覧とします。
③年間を通して、教育関連のコラム・特集を増やします。

第58回 市民寄席「桂 米團治 独演会」

桂　米團治

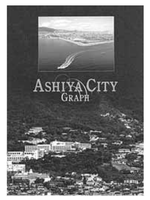
■日時　４月16日(金)午後６時30分開演
■会場　ルナ・ホール＜全席指定＞
■内容　桂米團治「稽古屋」「たちぎれ線香」「阿弥陀池」／桂紅雀「向う付け」／桂團治郎(開口一番)
■料金　前売2,500円(当日3,000円)
■チケット発売所
市民センター事務所・市役所売店・ローソンチケット（Ｌコード59121）

桂　紅雀

桂　團治郎

問い合わせ　市民センター　☎31-4995

「芦屋シティグラフ」好評発売中！



市では、「芦屋シティグラフ」（Ａ４判・52ページ／全カラー刷り）を発行・発売しています。

芦屋の自然や歴史、芦屋ゆかりの芸術・文学・文化―。それらに触れつつ散歩を楽しめるコースの紹介、行政の動きや統計、また市内の医療機関一覧（地図）など盛りだくさんの情報を、写真170点のほかイラストや地図とともにわかりやすく掲載しています。ご活用ください。

■発売場所　市役所行政情報コーナー・ラポルテ市民サービスコーナー　■定価　300円

問い合わせ　広報課　☎38-2006

ＪＲ芦屋駅南自転車駐車場４ 原付定期利用者〈１カ月・３カ月〉募集

４月１日オープンの「ＪＲ芦屋駅南自転車駐車場４」で、原動機付自転車（50cc以下）定期利用者を募集します。

■募集台数　先着13台　■定期利用料金　１カ月・2,500円、３カ月・7,200円
■申し込み　３月20日～31日・午前６時～午後10時に、ＪＲ芦屋駅南自転車駐車場３管理事務所（右図参照）へ。
※電話での申し込みは受け付けていません。直接窓口へお申し出ください。

自転車駐車場２の新規定期利用者を募集

ＪＲ芦屋駅南自転車駐車場２では、４月１日からの自転車の定期利用者を募集します。

■定期利用料金　１カ月・1,500円、３カ月・4,200円　■申し込み　３月20日～31日・午前６時～午後10時に、自転車駐車場３（上図参照）へ

問い合わせ　ＪＲ芦屋駅南自転車駐車場３　☎32-5569

春の公民館講座

問い合わせ　公民館　☎35-0700/FAX31-4998
（〒659-0068 業平町8-24）

田辺　眞人 氏

【田辺先生の「文化史論講座」】

■日程　４月16日～９月24日(金)午前10時～11時30分＜全６回＞　■会場　市民センター401室ほか　■内容　「市制施行70周年を迎える、芦屋のまちかど学」・「この70年と日本文化」・「温泉文化論」ほか　■講師　園田学園女子大学名誉教授・田辺眞人氏　■定員　先着60人(市民優先)　■受講料　2,500円　■申し込み　４月５日(月)までに、講座名・住所・氏名・電話番号を記入し、はがきまたはファクスで公民館へ

芦屋川カレッジ（高齢者大学）第27期生募集

■日程　４月21日～平成23年３月16日(水)　■会場　市民センター401室ほか　■対象　市内在住の満60歳以上で、初めて受講するかた
■定員　110人（選択コース各55人）　■受講料　年間21,000円

コース名	時間	内容等
必修コース〈36回〉	午前10時～11時30分	■オリエンテーションほか36回の講義等 ■全員が受講するコース
選択コース ①芦屋満喫 ②国際文化〈各15回〉	３週間に１回 午後１時15分～２時45分	①わが街芦屋を仲間と一緒に歩く、学ぶ、確かめる。芦屋の文化・魅力を再発見！ ②さまざまな国の文化に触れる、歴史を学ぶ。世界の国々と日本のつながりを探る。

芦屋川カレッジ聴講生の募集

■内容　芦屋川カレッジの選択コース（９回）を受講　■定員　芦屋川カレッジの修了生(市内在住者優先)・各コース50人（１コースのみ）
■受講料　年間3,700円(材料費等別)

芦屋川カレッジ・大学院　第３期生募集

■日程　４月26日～平成23年３月７日〈月〉午前10時～11時30分中心＜全13回＞　■会場　市民センター401室ほか　■内容　幕末の『素顔』を探る〈講座10回・受講生企画の現地見学会３回〉　■定員　芦屋川カレッジの修了生(市内在住者優先)100人　■受講料　6,000円

【申し込み】　３月31日(月)＜消印有効＞までに、希望事業(コース)名・住所・氏名(カレッジ応募のかたは生年月日。それ以外のかたは修了期)・性別・電話番号を明記し、はがきまたはファクスで公民館へ。
※第２希望があればご記入ください。応募多数の場合は抽選。

「市長等倫理審査会」の委員を募集します

問い合わせ　人事課　☎38-2019（〒659-8501　住所不要）

「市長等倫理審査会」は、本市の市長・副市長および教育長が、「芦屋市議会議員及び芦屋市長等の倫理に関する条例」に規定する倫理基準に違反する疑いがもたれ、市民から調査請求があった場合に、調査・審議する機関です。

この度、その調査を担当する委員を、次のとおり募集します。

【募集要領】
■募集人員　二人
■応募資格　次の条件を満たすかた
①人格高潔で、市長・副市長および教育長の職務に係る倫理の保持に関し、公正な判断をすることができる法律または社会に関する学識経験を有するかた
②市内在住で、選挙権を有するかた
③本年六月一日現在で七十歳未満のかた
■募集期間　三月十五日～三十一日
■応募方法　次の書類を提出(郵送可)
①「芦屋市長等倫理審査会委員応募申込書」(市所定の様式)
②「市長等のあるべき姿について」欄については、日ごろからお考えのご意見をお書きください。
■選考方法　選考委員会で、応募書類をもとに選考
※選考の結果は、後日、文書で通知します。
■任　期　六月一日～平成二十四年五月三十一日(二年間)
■報　酬　日額一万千二百円
※市長等倫理審査会は調査請求のあった場合に開催します。
■その他の要件
①委員は職務上知ることのできた秘密を漏らしてはならないこと。その職を退いた後も同様とする。
②委員は、在任中、政党その他政治的団体の役員となること、または積極的な政治運動をしてはならない。

「芦屋の四季・70選」　第４期写真募集

芦屋の美しい風景を、市制70周年記念写真集に残しましょう！

５月の西浜公園・キショウブの花

市では、「市制施行70周年」を記念し、市民の皆さんに撮影していただいた芦屋の美しい風景を、記念写真集「芦屋の四季・70選」に掲載、未来へと芦屋の景色を残していきたいと考えています。

第４期募集分の締め切りは、７月２日(金)必着〈消印有効〉でお願いします。多くの皆さんのご応募を、お待ちしています。

【募集要領】
■テ ー マ　2010年４月～６月〈春・初夏〉芦屋の風景セレクト
■内　容　＜第４期募集＞原則として、今年撮影した市内の風景写真
■対　象　市内在住・在勤・在学のかた
■規　格　カラープリント・デジカメプリント２Ｌサイズ（１人３枚以内）
■謝　礼　各期ごとに、入選作品に図書カード(3,000円)進呈
■応募方法　応募作品の裏面に、住所・氏名・年齢・電話番号・タイトル（撮影場所）・撮影年月日を明記し、７月２日(金)＜消印有効＞までに郵送または持参で下記へ
■選考方法　選定委員により、各期ごとに10点～20点を選考
■そ の 他　作品は、未発表の写真に限ります。入選作品の使用権は市に帰属し、作品は返却しませんので、ご了承ください。

問い合わせ　広報課　☎38-2006（〒659-8501　住所不要）

公民館の催し

問い合わせ
公民館
☎35-0700/FAX31-4998
（〒659-0068
業平町8-24）

人形劇と音楽を楽しもう！

■日時　３月31日(水)午前10時～11時30分　■会場　市民センター音楽室
■内容　人形劇「キララちゃんとゆかいな仲間たち」／〈コンサート〉金山麻美(フルート)、山田律子(リコーダー)、蘆田加代子(ピアノ)　■曲目　がけの上のポニョ・だれにだってお誕生日ほか

■定員　先着100人
■申し込み　事業名・住所・氏名・参加人数・電話番号を記入し、はがきまたはファクスで公民館へ

木津川計の一人語り劇場「無法松の一生」

市制施行70周年・芦屋川カレッジ創立25周年記念事業
■日時　４月７日(水)午後２時～３時30分
■会場　ルナ・ホール　■内容　日本映画史に残る名作「無法松の一生」を下敷きに、人力車夫・富島松五郎47年の生涯を語る　■募集数　先着150人　■受講料　500円
■申し込み　直接会場へ

ＮＨＫ公開セミナー「長谷川等伯」

４月10日から京都国立博物館で開催される同展の展示品と、等伯の生涯をわかりやすく解説
■日時　４月15日(木)午後２時～３時30分　■会場　ルナ・ホール　■内容　「長谷川等伯の生涯」京都国立博物館・山下善也氏　■定員　先着600人　■申し込み　４月５日(月)までに、往復はがきに、住所・氏名・電話番号・参加人数（１枚で２人まで）を記入し、公民館「ＮＨＫ長谷川等伯」係へ

長谷川等伯「仏涅槃（ぶつねはん）図」